

雜 報

1922d スケエレルプ (Skjellerup) 彗星發見

ケープ天文臺にてスケエレルプ氏は十一月二十六日に一小彗星を發見せり。其位置は

赤 經 十一時〇・八分  
赤 緯 南十度四十四分  
日 差 赤經東へ三分四十秒

赤緯南へ一度二十二分

尙十二月三日朝東京天文臺の神田氏の觀測によれば

赤 經 十一時二七・七分  
赤 緯 南十六度〇分 (一八五五年)

1922c バート (Baade) 彗星の軌道要素

十月二十二、二十三、二十四日の觀測によりバークレーのク  
ロフオード (Crawford) 氏の計算せし所に由ればバード彗星  
の軌道要素次の如し

近日點經過 一九二二年九月二八、四〇日 (G. M. T.)  
近日點進度 一〇七度三三分  
昇交點黃經 二一八度五〇分

軌道傾斜 五二度一七分

近日點距離 二・三二二

ペライン (Perine) 彗星 (1896 VII, 1909 III.)

京都天文臺の中村要氏は十一月三十日朝十吋反射鏡にて一小彗星を發見せり。其位置は

赤 經 八時五十分三十一秒  
赤 緯 北〇度二十八分  
日 差 赤經東へ十八秒

赤緯南へ四十四分

位置及運動より見れば同彗星は本年出現すべきペライン彗星なるが如し。赤經二分弱、光度一三等以下にして十吋反射鏡遠鏡にても殆ど認め難し。されど月明と距離の増加の爲めに十二月四日以後の再觀測は不可能なるべし。

琴座新星出現 十二月一日ロマニア國ザイエレル氏は琴座

に一等級の新星を發見せり。其位置は

赤 經 十八時四十八分  
赤 緯 二十八度

同星は琴座β星の五度南にあるべき筈なり。而も其の後觀測するもそれらしきもの見當らず。電文の誤りなるか、位置に大なる誤りあるかなるべし。

## 太陽黒點觀測報告 1922年11月分

觀測者・三澤勝齋，用器三吋望遠鏡

日	黒點群	黒點數	大黒點數	白紋	備考
1	1	7	1	0	
2	1	4	0	0	黒點ハ次第ニ衰ヘツ、アリ
3	1	1	0	0	
4	0	0	0	0	山岡克己觀測、昨日迄ノ黒點消失
5	1	1	1	1	新ラシキ一黒點白紋ニ圍マレ本日東端ニ出現
6	1	1	1	1	白紋ハ黒點群ノ圍ニアリ
7	1	2	1	1	白紋ハ黒點群ノ附近ニアリ大規模
8	—	—	—	—	雨
9	1	4	1	0	
10	1	4	1	0	黒點群本日中央子午線通過、山岡、笠井、觀測
11	1	6	1	1	白紋ハ點紋狀ノ小群ニシテ北極附近ニアリ
12	1	12	1	0	小黒點非常ニ増加ス
13	1?	1?	1	?	觀測者笠井、雲ヲ透テ觀測
14	2	1+1=2	1+0=1	1	新ラシキ小黒點大規模ナル白紋ニ圍マレタルヲ發見、多分昨日東端ニ出現ノモノナルガ如シ
15	2	3+1=4	1+0=1	2	白紋ハ各黒點群ノ圍ニアリ東方ノモノ殊ニ大規模
16	—	—	—	—	雪及雨
17	1	1	1	1	白紋ハ本月中ニ西端ニ没セントスル五日以來ノ黒點群ノ圍ニアリ、大規模ナリ
18	0	0	0	0	
19	0	0	0	0	觀測者、山岡克己
20	0	0	0	0	
21	1	6	2	0	1黒點群本日西側ニ突發、14日ノモノト關係アルガ如シ
22	1	4	0	0	
23	0	0	0	1	21日突發ノモノ本日ハ大規模ノ白紋ノミトナリ消失ス
24	0	0	0	1	白紋ハ23日ノモノノ繼續ナルガ如ク大規模ナリ
25	0	0	0	1	白紋ハ23日ノモノ、續キナルガ如シ
26	—	—	—	—	雨
27	0	0	0	0	
28	0	0	0	0	
29	1	3	1	1	新黒點大規模ノ白紋ニ圍マレ東端ニ出現
30	2	4+1=5	2+1=3	2	新黒點東端ニ出現白紋ハ各黒點群ノ圍ニアリ何レモ大規模

- 21日西側ニ突發ノモノハ位置及時間ノ關係上15日ノモノノ復活ナルガ如ク從ツテ活動激シキ黒點群ナルガ如シ。
- 29日出現ノモノハ位置及群ノ構造上ヨリ17日西端ニ没セシモノノ再現ナルガ如シ。